

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道26号 <small>わかやまみさき</small> 和歌山岬道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 近畿地方整備局
起終点	自：大阪府泉南郡岬町深日 至：和歌山県和歌山市大谷	延長	7.2km		
事業概要					
<p>一般国道26号は、大阪市から大阪湾沿いに堺市、岸和田市、阪南市など大阪南部の主要都市を通過し、和歌山市に至る延長75kmの主要幹線道路である。</p> <p>和歌山岬道路は、第二阪和国道の一部を構成し、一般国道26号の交通混雑の緩和、異常気象時通行規制区間を回避した災害に強い安定的な移動・輸送の確保、救急医療活動の支援及び地域活性化の支援等を目的に計画された道路である。</p>					
H19年度事業化	S62年度都市計画決定 (H21年度、H22年度変更)	H23年度用地着手	H23年度工事着手		
全体事業費	約463億円	事業進捗率	36%	供用済延長	-
計画交通量	21,700台/日				
費用対効果分析結果	B / C	総費用	総便益	基準年 平成26年	
	(事業全体) 1.03	(残事業)/(事業全体) 211/446億円	(残事業)/(事業全体) 459/459億円		
	(残事業) 2.2	事業費：177/412億円 維持管理費：33/33億円	走行時間短縮便益：397/397億円 走行経費減少便益：33/33億円 交通事故減少便益：29/29億円		
感度分析の結果					
<p>【事業全体】交通量：B/C=0.9～1.2(交通量±10%) 【残事業】交通量：B/C=1.8～2.6(交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=0.99～1.1(事業費±10%) 事業費：B/C=2.0～2.4(事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=0.96～1.1(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.1～2.3(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般国道26号は交通容量を超過しており、交通渋滞が発生。整備により交通混雑の緩和が期待される。 <p>災害時の代替路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 異常気象時通行規制区間の回避により、自然災害や異常気象等にも強い、安全で安定した物資輸送の確保が期待される。 <p>救急医療活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 岬町から最寄りの第三次救急医療施設（日本赤十字社和歌山医療センター）までの所要時間が短縮（33分 21分）され、救急医療活動の支援が期待できる。 <p>地域活性化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 大規模な宅地造成計画地域にランプを設置し、定住促進、郊外型大型ショッピングセンター誘致の支援など、地域活性化が期待される。 <p>関西国際空港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山市～関西国際空港への所要時間が短縮。（59分 43分） <p>阪南港へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山市～阪南港への所要時間が短縮。（66分 49分） <p>日常活動圏中心都市へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山市～泉南市への所要時間が短縮。（43分 26分） <p>主要観光地へのアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が期待される。 （みさき公園：観光入込客数 約35.5万人/年、和歌山城：観光入込客数 約20万人/年） 					
関係する地方公共団体等の意見					
<p>地域から頂いた主な意見等：</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年10月、第二阪和道路建設促進期成同盟会(岬町長、阪南市長、堺市長等より構成)より早期整備の要望を受けている。 平成26年11月、和歌山市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会(和歌山市長、岬町長等より構成)より早期整備の要望を受けている。 平成26年7月、阪南市・岬町第二阪和国道延伸連絡協議会(阪南市長、岬町長等より構成)より早期整備の要望を受けている。 					

大阪府知事の意見：

1. 平成27年度供用を目標に事業が進められているところであるが、一日も早い全線供用に向け、事業推進を図られたい。
2. 事業の実施にあたり、より一層のコスト縮減はもとより、引き続き、透明性の確保に努め、工事工程や事業費について、適宜説明を行われたい。
3. 今後とも事業を円滑に進めるため、沿道環境への配慮や交通安全対策、地域振興などに関する地域住民の意見を十分に踏まえながら、事業の推進に努められたい。

和歌山県知事の意見：

国道26号和歌山岬道路は、和歌山県と大阪府との連携を強化し、広域的なネットワークを形成する、重要な府県間道路であります。

また、国道26号の交通混雑の緩和、交通安全の確保、異常気象時通行規制の解消、救急医療活動の支援等の整備効果を高めるためにも、早期の全線供用が必要であり、対応方針（原案）のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等を図り、平成27年国体開催までに供用させるようお願いします。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「一般国道26号和歌山岬道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針(原案)のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

和歌山岬道路と並行する一般国道26号は、依然として交通量が交通容量を超過しており、和歌山市街地では交通渋滞が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成19年度に事業化、用地進捗率95%、事業進捗率36%（平成26年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

平成27年度：全線2車線開通予定

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。